

令和6年度 オーガニックビレッジ全国集会

環境配慮と省力化を両立させるグリーンな栽培へ

大崎市産業経済部
世界農業遺産推進監 安部祐輝

大崎耕土
世界農業遺産



OSAKI
KOUDO

GLOBALLY IMPORTANT
AGRICULTURAL
HERITAGE SYSTEMS

大崎耕土
世界農業遺産



OSAKI
KOUDO

GLOBALLY IMPORTANT
AGRICULTURAL
HERITAGE SYSTEMS

世界農業遺産 大崎耕土
「持続可能な水田農業を支える
大崎耕土の伝統的水管理システム」

世界農業遺産（GIAHS）

- ・ 世界的に重要かつ伝統的な農林水産業を営む地域（農林水産業システム）を国際連合食糧農業機関（FAO）が認定
- ・ 世界では24カ国78地域，日本では15地域が認定（令和5年7月現在）

<世界遺産（UNESCO）との違い>

世界遺産

- ・ 不動産で歴史重視
- ・ 遺跡や建造物が主
- ・ 「～してはならない」
- ・ **現状を変えないことが基本（保護・保存）**

世界農業遺産

- ・ システムで未来志向
- ・ 進化する知恵の遺産
- ・ 「～したほうがいい」
- ・ **社会や環境に適応した動的な保全**

<日本の認定地域>



未来に残す（次世代に引き継ぐ）

世界農業遺産の5要素と大崎耕土の農業システム

農業 生物多様性

居久根と水田水路の織り
なす農業生物多様性

食料及び 生計の保障

近世以来の伝統的水
田稲作地帯

ランドスケープ

約24,000戸の居久根
独特のランドスケープ

地域の伝統的な知識 システム

レジリエンス性の高い伝
統的水管理システム

文化と価値観 及び社会組織

伝統的農耕文化の継承、
契約講約760の存在、
餅などの食文化